

第1号議案 2017年度事業報告並びに決算報告承認の件

		(1)事業実施報告 ①2017年度 会議開催・活動実施状況				
月	事務局 会議	運営 委員会	保全学習	情報発信	目田川 モデル河川	その他
4月		20日	6日	3日	15日	
5月	15日	18日	11日	10日	20日	15日： 河川の水質調査 15日： 豊穰の郷だより発行 28日： びわこ地球市民の森のつどい 20～28日： 2017(第14回) 守山ほたるパーク&ウォーク
6月	12日	15日	1日	1日	17日	3日： 通常総会 4日： 身近な水環境の全国一斉調査
7月	18日	20日	6日	6日	15日	9日： 第1回水辺探訪講座・先進地研修
8月	10日	17日	3日	9日	19日	5日： 河川の水質調査(代掻き期随時) 15日： 豊穰の郷だより発行 20日： 水辺の楽校(夏編)
9月	14日	21日	7日	7日	16日	10日： 第20回赤野井湾探検会 30日： 第2回水辺探訪講座
10月	16日	19日	15日	15日	21日	1日： もりやま環境フェア 7日： 玉津学区民のつどい 14日： 第3回水辺探訪講座 15日： 守山学区民のつどい
11月	13日	16日	2日	7日	雨天中止	4日： 第4回水辺探訪講座 5日： 水辺探検会 11日： 河川の水質調査 15日： 豊穰の郷だより発行 25日： もりやま市民活動屋台村 25日： 水辺の楽校(秋編)
12月	18日	21日	7日	7日	16日	10日： ほたるの森資料館第1回環境学習会 17日： 赤野井湾・小津袋クリーン大作戦
1月	15日	18日	11日	11日	20日	
2月		15日	1日	1日	17日	4日： 第15回 川づくりフォーラム 10日： 河川の水質調査 15日： 豊穰の郷だより発行 18日： 第5回水辺探訪講座
3月	12日	15日	1日	1日	17日	10日： ほたるの森資料館 第2回環境学習会 18日： 水辺の楽校(春編) 31日： 赤野井湾・小津袋クリーン大作戦

## 全体活動

## 【会議】

## ● 第 14 回(2017 年度)通常総会

日時 2017 年 6 月 3 日 (土)

場所 火まつり交流館 出席 51 名

内容 2016 年度事業報告並びに決算報告の承認

2017 年度事業計画(案)並びに活動予算(案)の承認

総会終了後ワークショップを行った

テーマ 「持続可能な NPO 法人をめざしてみんなで話し合いました！」

総合司会 柏尾 珠紀

- |              |               |
|--------------|---------------|
| ■ 運営委員会      | 毎月第 3 木曜日開催   |
| ■ 事務局会議      | 運営委員会のある週の月曜日 |
| ■ 環境保全学習事業部会 | 毎月第 1 木曜日開催   |
| ■ 環境情報発信事業部会 | 毎月第 1 木曜日開催   |
| ■ その他各企画会議など | 随時必要に応じて開催    |

## ● 2017 (第 14 回) 守山ほたるパーク&amp;ウォーク

実施期間： 2017 年 5 月 20 日 (土) ～ 5 月 28 日 (日)

後 援： 守山市 守山市教育委員会 びわ湖放送株式会社

実行委員会構成団体 19 団体

期間中のボランティア延べ 約 600 人

ホタル飛翔数 約 2,700 頭

観賞者数 約 30,000 人

2017 年のホタルの飛翔は 2016 年とほぼ同じ時期で、2014 年までの飛翔時期に比べると 10 日ほど早くなっている。2015 年よりパーク&ウォーク開催時期を 1 週間早めた結果、多くのホタルを見てもらうことができた。

また今年も、守山ふるさと劇団の公演やラフォーレ琵琶湖(現マリオット)の「星のお兄さんの星座解説ショー」など、環境以外でも来場者の満足度を上げる工夫を行った。

警備員も増やし観賞者への安全にも力を入れた。これにより誘導する人員が増え、ボランティアの負担も軽減でき、満足度の向上につながった。

## (3) 特定非営利に係る事業

## ① ほたるの森資料館 指定管理事業

10,676,196 円

## ホタルの調査、飼育及び研究事業

## ● ほたるの河川の維持管理および清掃

- ほたるの森およびほたるの河川の維持管理を行うとともに資料館その他施設を修繕して安全に観察できる場所の拡大をめざした。

- 展示物を主とした館内設備を充実させ、研修受け入れ等来館者の増加につなげた

- ・ ホタルおよびカワニナに関する新規展示を行なった。



- ・ 学習室兼展示室内の設備を充実させた。

- ・ 「守山ほたる会」および「もぴかプロジェクト」との事業協同化で資料館を有効活用した

- 守山ホタル研究室の維持管理

- ・ ホタル研究室を維持管理し、幼虫飼育量の増加、飼育技術向上およびその普及を目指した。

<ul style="list-style-type: none"> <li>● 守山ほたるパーク&amp;ウォーク 期間 5月29(金)～6月7日(日) <ul style="list-style-type: none"> <li>● 夜間開館の実施</li> <li>● 市民運動公園内散策コースの安全対策を実施</li> </ul> </li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● ホタル環境調査</li> <li>● ホタル飛翔調査</li> </ul> <p>期 間：5月18日(月)～6月17日(水)</p> <p>調査地点：パーク&amp;ウォーク散策路及び、守山市ほたる条例第5条の規定に基づき定めた保護区域(ほたる河川)</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● ホタル飼育、研究</li> <li>● ホタル講座 (全8回実施) 一般募集 (延べ20名の参加)</li> <li>● 環境学習会 (全2回以上実施) 一般募集 (合計52名の参加)</li> <li>● ホタル及びカワニナの飼育および研究 (通年)</li> <li>● 市内外河川の各種(水質、水生生物、河川構造等)調査(通年)</li> </ul>

<b>②環境情報発信事業</b> 環境保全活動の情報交換発信事業	1,836,516円
<b>【地域情報ネットワークづくり】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 第15回川づくりフォーラム <ul style="list-style-type: none"> <li>～ もりやま と ほたる ～ (参加人数 58名)</li> <li>開催日時：2018年2月4日(日) 13:00～16:00</li> <li>開催場所：エルセンター</li> <li>基調講演：「ホタルとともに住める街への課題」            龍谷大学理工学部環境ソリューション工学科教授 遊磨 正秀</li> <li>活動報告： <ul style="list-style-type: none"> <li>● 吉身学区まるごと活性化ホタルを守ろうプロジェクト 自治会長小西 由美子                「ホタルを守ろうプロジェクトの取り組み」</li> <li>● まがりおの里「おまがりぼたるを守る会」 会長 山本光男                「へイケボタルの里づくり」</li> <li>● 滋賀県立守山高等学校 SGH 課題研究チーム 県立守山高校 SGH 研究チーム                「守山市におけるホタル再生プロジェクト第二期報告」</li> <li>● 守山市ほたるの森資料館 副館長 古川 道雄                「マレーシアのホタルと保護活動」</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>	
	
基調講演 (遊磨先生)	活動発表 (小西自治会長)

## アンケートより

### 感想

- ・ ホタルの育成・環境づくりを通して、すばらしい「まちづくり活動」をすすめていると、どの発表も期待して聞かせていただいた。
- ・ ホタルの飼育、研究について活動しているが、今まで他の人との情報共有できる機会が無かったので、今後の活動に役立てられると思う。
- ・ ポイントは常水ゾーンをいかに増やすかだと考える。行政への働きかけが重要だ。取り上げて欲しいテーマ
- ・ 市内河川の生物生息状況について
- ・ 行政、市民（NPO・NGO）、企業などが一体となった、川やまちづくりの事例発表。
- ・ SDGs 持続可能な社会に向けた取り組みなどの紹介
- ・ 湖沼（琵琶湖）の保全活動や川づくりの先進事例の紹介
- ・ 琵琶湖・赤野井湾の現状報告 など

アンケートの結果から市内河川だけではなく、琵琶湖の保全についても興味を持ち、情報共有を希望する声が多くあることがわかった。2018年度川づくりフォーラムではこれを参考にしてテーマ決定の予定。

- **自治会ホームページ担当者へのホームページ講習会の実施**  
実施自治会：下之郷、泉町

### 【水辺探訪講座】

2017年度より取り組んだ自主事業で、「水」をキーワードに、各地を訪ね、文化・歴史などを学びながら、環境の保全性と持続可能性を考える連続講座。今後、新規会員増加や資金調達にもつなげたい。

#### ● 水辺探訪講座

- 第1回 7/9（日） 水めぐるまち針江を訪ねる  
参加 20名 人々の暮らしから学ぶ水の大切さ  
講師 生水の郷ボランティアガイド ※先進地研修共催
- 第2回 9/30（土） 赤野井湾を知ろう  
参加 20名 なぜ烏丸半島のハスは消えたのか  
講師 滋賀県琵琶湖政策課 幡野真隆
- 第3回 10/14（土） 滋賀県立琵琶湖博物館  
参加 11名 守山の川に棲む貝から見る水辺環境  
講師 琵琶湖博物館 学芸員 松田 征也
- 第4回 11/4（土） ダムと紅葉めぐり（野洲川ダム・青土ダム・石部頭首工）  
参加 15名 紅葉の季節！守山の水源を訪ねましょう！  
講師 水・土・里ネット担当職員、青土ダム管理担当職員  
※水辺百選講座共催
- 第5回 2/18（土） ほたるのまち守山を流れる水について学ぶ  
参加 18名 環境用水ってなに？  
講師 滋賀県立大学名誉教授 秋山道雄

参加者全員に行ったアンケートでは、65%がシリーズまたは希望講座に参加したいと回答があった。内容についてもほぼ、満足という結果を得た。また、次回訪ねたい場所については、浄水場見学、巨木林散策、河川の上流から下流までを探訪、ザリガニの試食まで、「水」にまつわる多岐にわたる意見が寄せられ、参加者が本講座を楽しみにしていることが読み取れた。

### 【守山の水辺百選】

守山の水辺に対する愛着、興味などの喚起を目的に活動

- **第6回水辺百選講座** (参加人数 15名 参加費 1,500円)  
～守山の水辺百選の源流を訪ねる～ (バスにて野洲川沿いめぐり)  
開催日時：11月4日(土)実施 \*No.は水辺百選の整理番号  
探訪場所：野洲川ダム 青土ダム 石部頭首工  
講師：水土里ネット担当職員、青土ダム管理職員
- **守山の水辺百選リーフレット更新**  
地域からの情報をもとに、地点の現在の様子を検証・再編集

### 【学区民のつどい等情報提供】

水環境保全の大切さを広く啓発し、市民の意識向上に繋げることを目的とした。

#### 活動内容

- びわこ地球市民のつどい 5月28日(日) 体験参加約100名  
ヨシ細工体験(ブーブー笛)
- 10月1日 もりやま環境フェア(参加者170名)
- 10月7日 玉津学区民のつどい(〃 100名)
- 10月15日 守山学区民のつどい・速野学区民のつどい(雨天中止)
- 10月22日 小津ふれあいまつり(台風のため中止)
- 11月25日 守山市民活動屋台村(パネル展示)

「オオバナミズキンバイ」に関するパネルと、今年度目田川の活動紹介のパネルを新しく作成し展示したほか、オオバナミズキンバイ・ホテルに関する環境クイズを行った。

### 【ホームページの運営・管理】

- 活動スタッフの募集、行事報告など
- 行事予定の更新
- 親しみやすく、素早い活動紹介  
フェイスブックページ・ブログ「ほうじょうの日々」の更新
- 行事参加希望者に向けてのメーリングリストの作成

### 【機関誌の発行】

- **豊穣の郷だより発行**  
機関誌を通じて、活動報告・紹介、地域紹介、行事参加者募集などを行った。
- 79号～82号を発行(6月、9月、12月、3月)

### 【研修受入】

- 栗見出在家 6/23(金) 活動発表と交流会
- 淡海環境財団(JICA・中国) 7/6(木) 環境学習事例発表
- 吉身幼稚園 7/7(金) 川遊び体験
- 守山市立守山中学校科学部 9/30(土) 環境学習
- 守山市立守山中学校 10/5(木) 環境学習
- 〃 12/17(日) クリーン大作戦参加
- 滋賀銀行 〃 〃
- 積水化成工業株式会社 〃 〃
- 関西大学ボランティアサークル 〃 クリーン大作戦参加及び勉強会
- 守山市立守山中学校科学部 3/31(土) 赤野井湾清掃活動
- JTB西日本 〃 〃

## 琵琶湖のシジミ、赤野井湾流域の水質生態系などの調査、環境保全実践学習事業

## 【目田川モデル河川づくり】

地域の川づくりに役立てるため、理想的な川づくりのモデルとしての活動を行った。また、減少気味の参加者の増加を目的とした「目田川+（プラス）30人」のキャンペーンとして、ボランティア募集のチラシを作成し様々な場面で配布、活動の様子をフェイスブックで積極的に紹介するなどの広報活動を行った。その結果徐々に参加者は増えているが固定化するには至っていない。引き続き、情報発信を行い、安定した人数確保に努める。

## 活動内容

- 川の現状をできるだけ自然の姿に保ちつつ整備し、水辺の遊びと憩いの場を提供し、市民の水辺への関心を喚起するモデル的な河川づくりを实践
- 川の環境を観察、記録し、その環境の変化を子どもたちや市民に提供
- 地域や他団体との連携を図り、協同による河川づくりの实践
  
- 目田川モデル河川づくり（参加人数 延べ141名）
  - 作業日：毎月第3土曜日9：00より（雨天時は翌日に順延）
  - 作業場所：目田川河川公園  
協力団 湖南ホームタウンほか  
（インターンシップ研修学生：龍谷大学、神戸大学、滋賀県立大学など）

作業内容：

- 1 基本作業
  - (1) 雑草の刈り取りおよび除去
  - (2) ごみ拾い
  - (3) 水質調査（PH/COD/窒素/リン酸等）
- 2 河川づくり作業
  - (1) 水辺の生きもの、植物等の変化観察
  - (2) 中州の維持管理およびその周辺の水辺の整備
  - (3) 憩い・休息の場づくり（植樹による日影づくり）
  - (4) ゲンジボタルの生息に適した環境の維持管理

## 【河川水質調査】

調査時期：代かき時、5月、8月、11月、2月と6月 身近な水環境の全国一斉調査

調査場所：市内8河川 80か所

（法竜川、三反田川、天神川、金田井川、守山川、新守山川、山賀川  
塚川及び中州学区の里中川とこれらの分流河川）

2017年度は、調査データの正確さの向上を目的に、調査日時を守ることを調査員の皆さんにお願いし、協力を得た。年齢による体力の低下を理由に今年限りの調査員が何名かおられるので、調査員確保が課題となる。

## 【水生生物調査】

地域住民による赤野井湾や流域河川の水生生物等の生息状況を調査することで、水質調査との比較、川の構造、生き物に優しい川づくりを目的に活動した。調査結果は環境学習に活用ができるように、表にまとめた。

- 水辺の探検会（参加者20人）
  - 開催日時：11月5日（日）
  - 活動場所：吉川川、目田川、天神川、金森川
  - 講師：上西実さん（龍谷大学教授）

### 【水辺の楽校】

目田川を活用して、子供たちに水辺の楽しさや環境保全の意義を学ぶための体験学習を行った。子ども環境リーダーを育成につなげる。

- **水辺の楽校 夏編・秋編・春編**（参加者 延べ 140 名）

開催日：夏編 8/20・秋編 11/25・春編 3/18

内 容：講師の指導で、自然の中に隠した「宝物」を探すカモフラージュや、木の実や木の葉を探すネイチャーゲーム、竹や廃材を利用したクラフト作りが好評だった。3年生以上は子どもだけでも参加可能となったので、例年より年齢層がやや高くなった。自分たちで工夫してゲームやクラフト作りをする姿が見られた。

### 【赤野井湾探検会】

赤野井湾（琵琶湖）の実情把握と水質関連の確認などを行う体験学習。湾内水質調査や稚魚の放流、外来魚の解剖、漁業体験を行った。

- **第 20 回赤野井湾探検会**（参加者 29 人）

開催日時：9月10日（日）

開催場所：赤野井湾水域と玉津小津漁業組合事務所前

内 容：漁業体験、ニゴロブナの放流、赤野井湾での水質調査、水生生物採取  
外来魚の解剖、湖魚料理の昼食など

講 師：滋賀県水産試験場職員（外来魚解剖）  
玉津小津行業組合 漁師（漁業体験指導）



漁業体験



外来魚を解剖

今年度は拠点を赤野井湾・小津袋付近に移し、玉津小津漁業協同組合の協力で活動した。2～3人用の漁船に分乗し、「しかけ」を引き上げる漁業体験や、オオバナミズキンバイなどが繁茂するヨシ帯の近くの見学を行った。滋賀県水産試験場の職員の指導で、一人一匹ずつブラックバスの解剖を行った。「大きなブラックバスはカイツブリさえも飲み込んでしまうことがある。」と説明を受けて解剖に臨んだ児童たちが、魚の匂いを気にしながらも用心深くハサミを使い胃の中を確認し、小さな魚を発見したときのイキイキした表情が印象的だった。

このように五感をフルに使った活動内容がたいへん好評だった。

今年度の新しい取り組みとして、参加者を小学3年生以上と限定し、専門家の指導で漁業体験や解剖など、一人ひとりがしっかり学べるように考慮したプログラム作りを行った。

参加者からは大変好評で、その後の当法人のイベントにも興味を持ち、水生生物調査などの次の行事に参加申込みに繋がるなど、今まで課題となっていた環境リーダーとなる人材の育成にも発展させられるのではと期待している。

### 【赤野井湾・小津袋クリーン大作戦】

学校、地域、企業、行政とともに琵琶湖・赤野井湾の保全、保護活動

- 第9回、10回赤野井湾・小津袋クリーン大作戦（参加者 延べ328名）

開催日時：第9回 12/17（日） 10回 3/31（土）

開催場所：琵琶湖赤野井湾湖岸・小津袋一帯、新守山川、法竜川河口など

参加団体：小津自治会、玉津自治会、守山中学校、国際ボランティア学生協会

関西大学、滋賀銀行、積水化成品工業、JTB、玉津小津行業組合、守山市、滋賀県

内 容：湖岸周辺の清掃活動と特定外来生物「オオバナミズキンバイ」などの除去作業

今年度よりオオバナミズキンバイ除去大作戦に代えて、年2回のクリーン大作戦を実施

### ④守山ほたるサポーター事業

522,467円

賛助会費、寄付金事業

#### 【ホタル飛翔関連の活動】

守山市ほたる保護条例で指定されている、市内河川への幼虫放流を含む保全と保護に係る活動。

- ほたるの森資料館 幼虫飼育補助施設としてホタル研究室の維持管理

### ⑤その他事業

その他前びわこ豊穰の郷の活動目的を達成するため必要な事業

#### 【賃貸事業】

- 貸会議室の賃貸

### その他の活動

- 基盤強化勉強会  
持続可能な組織運営についての勉強会
- 田んぼ部  
田んぼを通じた環境学習と、参加しやすい活動を場の提供などを目的とする。
- カラオケ部  
会員間の交流を目的とする



### その他の活動

- 今共同が創る 2017 全国集会参加  
開催日：10月8日（日）龍谷大学瀬田キャンパス於  
内 容：パネリストとして参加し、活動発表を行った。